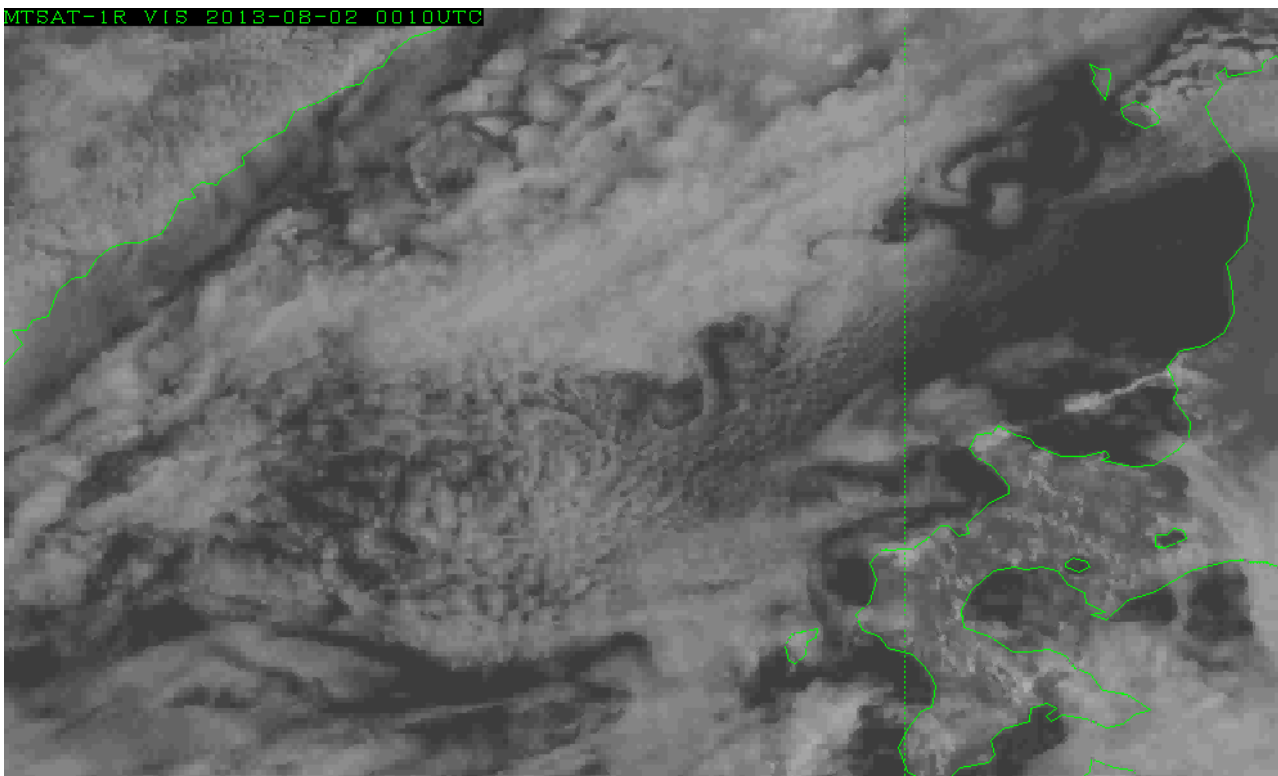


# 利尻島風下のカルマン渦 2013/08/02

## MTSAT-1R Rapid Scan

MTSAT-1R VIS 2013-08-02 0010UTC



### 高頻度観測可視画像

比較的強い下層の北東風が維持され、利尻島風下にカルマン渦が発生。

約900hPaに強い逆転層が存在し、その下に層積雲が広がり、カルマン渦を可視化。

気象衛星センターでは次期衛星「ひまわり8/9号」の高頻度観測を模擬して、MTSAT-1Rによる5分間隔の高頻度衛星雲観測を行っています※高頻度衛星雲観測により航空機の安全運航に資するデータを提供しています。

※夏季日中のみ (6月-9月、00UTC-09UTC)